

◇特集 2年後に右京中央図書館(仮称)ができます
◇Report 読み語り・みなまた海のこえ

特集 2年後に右京中央図書館(仮称)ができます

新しい図書館へ 左京図書館利用者の立場からの期待

2年後に右京中央図書館(仮称)が開館します。現在の右京図書館が移転拡充、地下鉄東西線の天神川駅(仮称)の上に右京総合庁舎等と共に建設されます。すでに昨年11月に起工式があり、12月から工事が開始されています。基本的な情報は右京中央図書館建設室のホームページ

<http://www.kyotocitylib.jp/ukyokensetu/top.html>
で知ることができますが、完成すれば京都市図書館で一番大きな図書館となります。

整備のコンセプトとしては「京都大百科事典的図書館づくり」「充実したIT環境づくり」「生涯学習の拠点づくり」「地域活動の拠点づくり」の4つがあげられています。

またこれまで、平成15年に京都市が地元で市民参加の「できたらいいな みんなの区役所、体育館」ワークショップを開催したり、17年2月には「みんなで考え

る新しい図書館づくり”市民アンケートが行われ、市民とのパートナーシップによる図書館づくりが進められて来たそうです。

新しい図書館がどんなところか、どのようなサービスがあるのかは左京図書館利用者としても関心のあるところ。新図書館での取り組みが市図書館全体に波及して、身近な図書館もよりよくなってほしいという願いもあります。

そこで、日頃の活動で縁のある京都市子ども文庫連絡会が新図書館の進捗状況を建設室から聴く会にけやきも同席し、新図書館の特徴を取材してきました。

(2月10日、ハートピアボランティアルームにて。)

出席：右京中央図書館建設室より 増田邦雄副室長、田中担当係長、大槻係員。京都市子ども文庫連絡会の方々。けやき事務局より：永井、奥坂、岩崎、田中、島崎)



右京中央図書館(仮称)

開館予定 平成19年度中

場所 右京区太秦下刑部町 再開発施設3階

面積 図書館部分：約3000㎡

(左京図書館：約600㎡、中央図書館：約2000㎡)

一般書コーナー：437㎡

京都資料・レファレンスコーナー 425㎡

児童書コーナー338㎡、ティーンズコーナー61㎡

右京中央図書館建設室副室長の増田邦雄氏は今の左京図書館が移転開館するときの館長さん。けやきメンバーとは、要望や話し合いを重ねて、左京図書館がよりよいものになるようにと5年間で一緒に仲です。

左京図書館時代からの、利用者の声を聴き、できることはすぐ実行という行動力は現在でも健在のようで、まず増田副室長から工事の現況報告とともに「平成15年のワークショップで市民の皆さんの意見を吸い上げ、基本設計に反映し、またその後のアンケートを実施設計に反映しました。市民の意見を取り入れた図書館づくりができたと自負しています。今日も色々な意見を聴き、運営面等にも反映させて行きたい」と挨拶がありました。

市民からの意見を取り入れた変更点や特徴の説明(右記)のあと、出席者からの質問や要望が出、増田氏や田中氏が応えられました。

Q=出席者 答え=増田氏、田中氏(敬称略)

Q:レファレンスは新図書館ではどの程度を荷なう予定か。レフェラルサービスやカレントアウェアネスサービスも行うのか。

田中:現中央図書館参考資料室では、かなり専門的なレファレンスを求められることも多く、レフェラルサービス(調べたいことについて、専門の機関を紹介するサービス)も行なっている。このレベルのサービスまでは新図書館でも行う予定。カレントアウェアネス(最新の情報を常に利用者に提供する。主に専門図書館、大学図書館、国会図書館で提供されるサービス)の構築は難しく検討が要る。

Q:ティーンズ開架があるが、どのような本を置くのか。例えばニューヨークの図書館ではティーンズ向けに進路や調べ学習の資料を集めている、そのような資料もあったらいいのでは。

田中:どのような情報を扱うか検討中です。ティーンズ向けの雑誌も置くことなどが考えられます。

Q:児童書専門の司書さんを育てていただきたい。

増田:京都市の図書館の課題として、そのような人の育成をしなければと思っています。

Q:新図書館で貸出返却とレファレンスサービスの他にやろうとしているサービスは?

増田:新図書館では研修室を利用して、定期的な講座や講演会等、できることをやりたい。

Q:研修室について。映画会をするには機材置き場が要

るのでは。窓には暗幕が要るのでは。

増田:研修室の壁面に収納スペースが必要という議論はしている。暗幕の件もわかりました。

Q:アシストルーム(多目的室)を授乳室としても使う場合は、授乳時にカーテンなどを設置してほしい。

増田:わかりました。

Q:トイレについて。男性が幼児を連れて来館する時用に、男子トイレの洋式便器にも子供用の便座をつけてほしい。またトイレのボタンや、手洗いを子どもにも手が届く高さにしてほしい。

増田:子ども用便座は男女両方に必要ですね。(おむつ替えの設備は男女トイレに設置されている)。手洗い等の高さについても考える必要がありますね。

Q:館内でのパソコン貸出について。フリーソフトを勝手に入れるなどの行為に対する対策は。

増田:パソコン貸出の運用については、そのようなことも含めよく検討したい。

Q:インターネットの使えるパソコンを館内一カ所に集めるのではなく、研修室や児童コーナーなどでも使えるようにしてほしい。また本と見比べながら、インターネットを使うのが図書館での本来の使用のかたちと思われるので、そのような使い方ができる環境にしてほしい。

増田:利用の仕方や運用はまだ整理が必要な段階なので、よく検討します。

市民からの意見を取り入れた点

- 1) 児童書コーナーに「お話部屋」を設けた。通常はカーテンをオープンにし、読書コーナーの一部として利用もできる。これは京都市図書館では初めての設備。
- 2) アンケートの結果、設計にあった入り口の「談話コーナー」は要らないという意見があったので、この場所を市民の交流の場となるよう絵画展等もできる場所として運用したい。名称は京北町との合併を記念として京北町産の木を使っているので「ウッドルーム交流路」とする。同じ建物に8時30分から開く区役所があることもあり、早朝開館の要望に応じて、開館前に(図書館は10時開館)このコーナーで、その日の朝刊が閲覧できるように工夫したいと考えている。
- 3) 「グループ活動室」(95㎡、2部屋に区切れる)の名称では用途がよく分からないということなので、名称を「研修室」に変更した。各種講座事業や読書団体の学習会、学校単位の調べ学習、映画上映会などに使用する。
- 4) 授乳室がほしい、という意見が多かったので対面朗読室や音声変換朗読室を「アシストルーム」として、多目的な部屋としても使えるよう、使い勝手をよくしたい。
- 5) 右京図書館の緑の環境を引き継ぎたいとの声を受け、新図書館から屋上庭園の緑が見られるように、また緑に囲まれた屋外読書テラスも設置。

新図書館の特徴的な設備、運用

1) 蔵書数

計画冊数30万冊。開館時は21万冊を目途に収集している。

2) レファレンス

サービスカウンターのそばに独立したレファレンスカウンターを配置。レファレンスサービス理解普及のため、目に見えてわかりやすい配置とした。なお、子どもの読書相談を受けるカウンターの設置

をとという要望があったが、現在のところは常設ではなく、夏休み等に児童コーナーに司書が机を持ち出して相談を受ける等、運用面での工夫を考えている。

3) 閲覧席

約300席(中央図書館約140席、醍醐中央図書館約70席、左京図書館66席)。閲覧席を多くという声に応えた。またノートパソコンは場所を決めて持ち込みとする方向で検討している。より静かな読書スペースの確保。南側の閲覧室をガラススクリーンで仕切り、音を遮って静寂を確保した(ガラスなのでカウンターからは見通せる)。静かさ確保のため児童コーナーを独立した部屋にする、というやり方もあるが、児童コーナーが孤立するよりは、静けさを確保でき場所を別につくる、のがよいと考えた。児童コーナーもアーチ型仕切りなどで、音もれについては配慮している。

4) IT環境

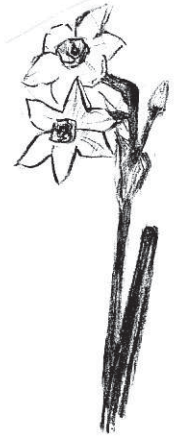
利用者用パソコンを30台用意(うち10台は館内貸出用)。インターネット、CDROM 検索性パソコンを配置する。運用の仕方については検討中。

5) 視聴覚資料

DVD: 視聴覚コーナーはDVD専用ブースを5席用意。視聴方法等については、現在視聴覚コーナーのある醍醐中央図書館を参考に、スムーズに利用してもらえる方法を考えたい。

CD: CDは試聴。借りるためにどんなCDかちょっと聞いてもらうという形を考えている。

相互貸借: いずれの視聴覚資料も、新右京中央図書館開館後は、京都市図書館の相互貸借ネットワークを使って、市の他の図書館からでも借りたり返したりできる方向で考えている。醍醐中央図書館の視聴覚資料も同様。(左京図書館からも取り寄せて借り、返却ができるということ)。



左京図書館の利用者から見た

右京中央図書館(仮称)とその波及効果への期待、願い

期待がふくらむサービス

まず、右京中央図書館(仮称)の開館により、長年願っていた視聴覚資料相互貸借(左京図書館からも右京や醍醐中央図書館の視聴覚資料が借りられる)が実現しそうで、視聴覚資料利用の地域的な偏りが是正されるのはうれしいことです。

そして、レファレンスサービスの充実やティーンズコーナーの設置、図書館内に初めて研修室が作られ各種行事の開催・学校や読書団体の利用・さらには図書館主催の講座の開講等々、日頃願ってきたことが次々にかたちになりそうで、京都市の図書館の前進に期待がふくらみます。

また、京都市長の諮問機関である京都市新中央図書館基本構想審議会が平成11(1999)年に出した「新中央図書館(仮称)基本構想」最終答申を受け、児童書の全点購入をはじめ新中央図書館のための資料の購入が先行してなされていましたが、その後の市の財政緊縮でこの計画は凍結状態にあり、資料は未公開のまま保管されていました。出来るだけ早い利用者への公開を願っていたこれらの資料も、右京中央図書館オープン後は利用できるようになるとのこと、これもうれしいニュースです。

「新中央図書館(仮称)基本構想」の行方は?

この「新中央図書館(仮称)基本構想」のうち「京都大百科事典的図書館」と「IT環境の整備」の2項目が、右京中央図書館で先行実施されることになっています。今回お聴きした計画からも、右京中央図書館ではそれらの点に力が注がれていることが見受けられます。しかし3000㎡という限られた広さを分け合う中で、その分京都市図書館最大の図書館となるこの館での子どもの本のスペースには、物足りなさを感じます。

なにしろ99年の「新中央図書館(仮称)基本構想」最終答申では、当時政令指定都市で続々オープンしていた大型中央図書館(96年オープンの大阪市立中央図書館は延床面積34533㎡、目標蔵書数330万冊)の流れの中で、「京都市には延床面積は15000~20000㎡、目標蔵書数は150~200万冊規模の中央図書館が必要」と提言されていたのです。確かにその後の日本の経済状況の推移や地方自治体の財政悪化の中で大型公共施設の建設は見直されてきました。必ずしも巨大な中央図書館は必要ではないという考え方もありますが、その機能の部分的にせよ先行実施が行われる図書館のスペースが当初市民が描いていた中央図書館の五分の一というのは何とも残念です。

最近、京都市図書館所蔵の水俣病関連の図書を探して驚

いたことがあります。今号の6頁に掲載しているリストの18タイトルを一堂に閲覧することが出来る館がないのです。最も多く所蔵する中央図書館ですら7タイトル、他館はそれ以下でした。「資料費の有効活用、相互貸借して最寄りの館に集めればよい」という考えもありますが、やはり、ある程度の大規模かつ水準の高い蔵書とそれを収蔵するスペースを備えた中央図書館が京都市にも必要なのではないのでしょうか。新中央図書館建設の機運が再び高まることを強く願います。

4つの中央館の役割とは

さて、この右京中央図書館が既設の京都市図書館群に加わる際、その中でどのように位置づけられどのような役割を担うのでしょうか。中央館は、その他の館に比べ格段の規模とスタッフ数を有しています。けやき18号で報告したように、1年前に京都市図書館の資料収集について中央図書館に尋ねた際、「効率的収集を進めるため分担収集を考えている」「三つの中央館(中央図書館、伏見中央図書館、醍醐中央図書館)を中核館とし地域館をバックアップするというのが基本」「近隣に設置する図書館をブロック別にグループ化することも一方法として検討中」といったお話を伺いました。

この案を一步進め、新たな中央館のオープンを機にこれら中央館を、近隣の図書館グループの中核であり資料収集面だけではなくもっと多面的に周辺の地域館をバックアップする役割を担うものとしてはっきり位置づけ、各地域の基幹図書館としての条件整備を進めていはいかががでしょう。そして、これら中規模館を束ね京都市全体の図書館機能を見渡す機関としても、新中央図書館はやはり必要だと思います。

最後に、上に延べたような役割を4中央図書館が担うとして、中央館の地域的な偏りが気になります。市内の北東部に中央図書館はありません。左京区住民としては、ぜひ北東部にも中・大規模館の建設をと、声を挙げたいところです。

公共図書館活動への市民参加

私たちけやきは、この7年足らずのあいだ左京図書館とともに利用者の願うよりよい公共図書館の実現に向けて様々な活動に取り組んできました。右京中央図書館開館まであと2年、公共図書館活動への市民参加のモデルのひとつとして、けやきのこれまでの経験が、今後の右京中央図書館の運営に少しでもお役に立てばと思います。右京中央図書館を主な活動の場として市民グループが生まれ、ともに右京中央図書館や左京図書館をはじめ京都市の図書館が利用者にとってよりよい図書館となるよう交流や活動ができればうれしいなと今から夢を描いています。(永井)

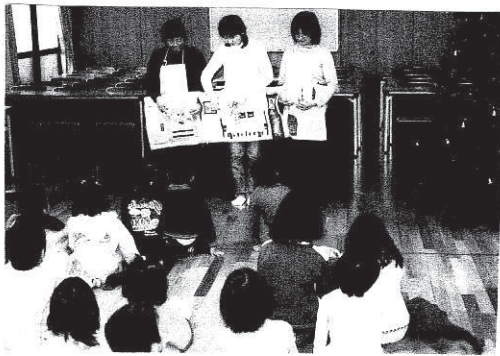
TOPICS

冬のスペシャルお楽しみ会 12月7日

40名の参加者を迎え、子どもたちと楽しいひとときをすごしました。司書さんによる大型紙芝居、「であいの森」メンバーによる3人エブロンシアター「狼と七匹の子やぎ」やミュージックパネルが上演されました。

工作はちょっと手が込んでいて、仕上げに苦心した部分もありましたが、クリスマスらしい素敵な飾りができました。

参加者から、図書館の催しなので本の紹介もあったらよかった、という声もありました。映画会、お楽しみ会等々図書館の行事の折、テーマに合わせて、本の紹介や展示があると、催しで受けた刺激を本の世界に拡げることができそうですね。



事務局会議にいらっしゃいませんか？

先号のけやき(20号)でも紹介したように、けやきでは月に一度、事務局会議を開いています。メンバーはけやき創設時からの人だけでなく、2~3年前に左京に引っ越しに来て、けやきを知り、加わった人もいます。現在は毎回10人程度の出席で、30代~50代の女性が中心です。以前は学生さんのメンバーや男性のゲスト参加者もおられました。多様な利用者の意見を取り入れるためにも、男性や幅広い年齢の方の参加があるといいな、と考えています。

会議は前月の各グループ(8頁参照)の活動の報告、活動や催しについての企画検討、ニュースレターの企画検討など。また活動や、図書館そのものの課題についてもその都度話し合っています。今年度はこれまで、創設以来自転車操業のような勢いで続けてきた活動を見直し、よりしっかりとした計画になるよう話し合いを続けてきました。来年度はこれを実践する年となります。

6月の総会に向けて来年度の計画を詰める時期となりました。図書館にこんなサービスや催しがあれば、活動に参加してみたい、こんな友の会であってほしい等々、思いのある方、ぜひ一度事務局会議をのぞいてみてください。

日時: 第1月曜 午前10時~12時(3/6、4/3、5/8)

場所: 左京図書館階上の会議室にて

参加ご希望の折は事前に事務局(8頁参照)までご連絡下さい。(できるだけファックスでお願いします。)

けやきの 本棚 21

わたしの
おすすめの本

いると思います。(T・T
さん・下鴨)

デセプション・ポイント
ダン・ブラウン著
角川書店 05年

『ダヴィンチ・コード』で世界的に有名になった著者がそれより前に書いたサスペンスです。NASAの隕石発見と大統領選挙の陰謀に巻き込まれて命を狙われる主人公たち…。上下巻ありますが一章がそれぞれ短いのでとても読みやすいです。映画を見ているようなスリルを味わってみてください。(Mさん・左京図書館)

現代若者方言詩集

けっぱれ、ちゅら日本語

浜本純逸編

大修館書店 05年

「方言詩を書こう」という課題の授業から寄せられた北海道から沖縄まで全国の大学生による詩集。ユーモラスでリズムカルな詩の中に、方言を糸口に身の回りの人々や故郷に思いをはせ、慈しむ気持ちが記されている。方言でしか表せない気持、感触、風土がある、その事に気づき大切に思う若者に、なんだか胸が熱くなる。(会員M・高野)

銀河鉄道の夜

宮沢賢治原作 藤城清治文絵
講談社 82年

よく知っている物語も、絵本で読んでみるとまた新鮮なものです。幻想的で美しい藤城清治氏の影絵で展開されるこの本は、絵を見て物語の世界を楽しむ、そんな一冊です。

原作では少々難解なストーリーも、簡単にまとめてあり、

読み語り **みなまた 海のこえ**

2006年2月4日

立春だと言うのに雪の降る寒い日の午後、40数名の方々と共に金森順子さんの読み語り「みなまた海のこえ」（石牟礼道子文、丸木俊・丸木位里絵 小峰書店 1982年）を聴く機会に恵まれました。

それは、戦後日本が経済発展を遂げてくる過程で負の遺産として残された、公害病の原点とも言うべき存在の水俣を舞台としたお話です。人も動物も植物も自然の恵みを一杯に受け、平和に暮らしていた海辺の町で何が起き、その結果私たち生き物がどういう影響を受けていったのかを、水俣在住の詩人、石牟礼道子さんの美しい言葉と丸木俊、丸木位里さんの細やかな絵が訴えかけてくる、心に沁みる絵本が「みなまた海のこえ」です。

金森順子さんは、御自身の子育ての中から“読みきかせ”を続けておられましたが、どうしても声に出して読めなかった本、そして今はすべてを注いでおられる本が「みなまた海のこえ」だということです。その深い思いを抑制の効いた声で、だからこそ強く私達に伝えて下さいました。

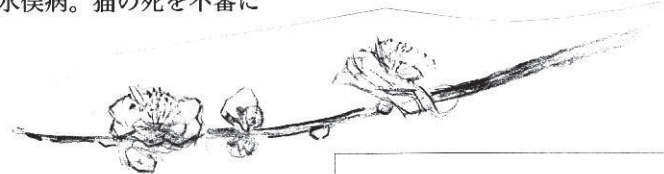
熊本県水俣で猫が足元定まらずフラフラ歩き、変な死に方をしていくことに端を発した水俣病。猫の死を不審に

思っていた人間も同じような症状を呈し、亡くなっていきました。その原因が水俣湾で獲れた魚にあること、そして根本的原因は水俣湾にたれ流しされた工場廃液に含まれる有機水銀にあることが判明してから50年。自分が食べた魚によって発病した人、母親の胎盤を通して有機水銀の影響を受け発病した人、その誰もが自らの責任とは無関係に病に苦しんでおられます。皆に平等に与えられたたった1回きりの人生で背負っていく荷として、これほど重いものがあるでしょうか。

金森さんは御自身の人生と照らし合わせる中で、理不尽な思いを一層強くされていったのでしょうか。石牟礼道子さんの思いを受け継ぎ、高田京子さんのスライド操作の絶妙な間を乗せて「みなまた海のこえ」の心を伝えて下さった、金森さんの語りを聞いた私達にとって大切なことは、その思いをしっかりと受け止めていくことではないでしょうか。

そのためには二つ。一つめは、次の世代、さらに次、その次の世代に、今私たちが生きている地球を生き物全てが健全に生きていける形で残すこと。二つめは人の心に響く言葉を大切にしていくこと。そんな思いを強く感じた1日でした。

(増井)



金森順子氏は宇治市在住。1953年から1995年定年退職まで民間企業に勤務。1981年「こえをだしてほんをよむ会」創設。1982年から2004年まで「朗読劇団・あめんぼ座」に所属。2002年熊本県水俣市の「エコパークみなまた親水緑地」で絵本『みなまた海のこえ』を朗読。その後、宇治市周辺で「読み語りの会 みなまた海のこえ」を開いている。上映された**原画スライド**は、1984年に原爆の図を見る会・京都によって制作された。（スライド撮影・佐野正明）。当日のスライド操作は高田京子氏によった。

出版され、京都市図書館所蔵のもの
水俣病に関する本―最近5年間に

- ◆わが死民：水俣病闘争 復刻・シリーズ1960 70年代の住民運動 石牟礼道子／編 創土社 2005.11 初版1972 右京
- ◆水俣病の真実：被害の実態を明らかにした藤野紘医師の記録 矢吹紀人／著 大月書店 2005.10 洛西
- ◆新たにわかってきた水俣病のはなし NPOみなまた／編 高岡滋／発行 2005.7 中央
- ◆水俣学講義 第2集 原田正純／編著 日本評論社 2005.7 醍醐中央
- ◆水俣学講義 原田正純／編著 日本評論社 2004.3 醍醐中央
- ◆水俣学研究序説 原田正純／編 藤原書店 2004.3 中央
- ◆沈黙の海：水俣病弁護団長のたたかい 千場茂勝／著 中央公論新社 2003.3 中央、伏見中央、醍醐中央

参加者の感想から



あの絵本の絵があんなに美しく、又、細やかに書き込まれていることに、今日初めて気がつきました。又、語りの圧倒的な迫力に、体ごと吸い込まれるようでした。自分の生活を振り返る時間でした。

私が学生時代、もう30何年も前ですが、授業の中で先生が「水俣の人達は未だに病に苦しんでいる」と言われたことを思い出します。絵本を読んでみたいと思います。

忙しい毎日、立ち止まって考えることが少なくなってきた。今日は美しいスライドを見ながら、力強い語りを聞かせていただき、よいひとときをもつことができました。私が生まれたところに水俣病が発生していたのかと、初めて認識しました。日本人は忘れっぽく、水俣病は過去のことのよう思いがちだが、まだまだ苦しんでおられる方も多いのだろう。

大変よい企画だったと思いました。若い方、お子様連れの方もいらっしやったので、次の世代へのかけ橋にもなると思ううれしく思いました。金森さんの語りも勿論ですが、あとのお話も感銘をうけました。また他の図書館友の会の方へも拡げて頂いて、一人でも多くの市民の目にふれますようにご尽力下さい！

淡いやさしい絵と話の悲しさのギャップにとまどいながらの40分。ミナマタのミも知らない子どもが頭の片隅に残した印象

で、水俣のことを学んだとき、あの絵と話がどうふくらむか、楽しみです。

初めての経験です。心にしみるような語りと、美しい絵でした。声高に訴えられたものではありませんが、公害の恐ろしさが今さらに感じられました。私も声に出してもっともっと読んでみたいです。

今日みなまた海のこえが長かったけど、きれいな絵だったのでよかったし、金森さんの声がよかった。(小学生)

子どもと参加できて本当に良かったです。小学校等でこういう機会を持たれば素晴らしいと思います。

偶然図書館でお誘いいただき、知りました。私事ですが、金森さんと同じ3人の子どもがいる仕事をもつ母です。今日は三男坊との参加です。保育園時代は親子でよく一緒に絵本や本を寝る前に読んでいましたが、この本は今日初めて知りました。穏やかですが、感情がこもった朗読で、これまで親子で読んでこられたことや劇団でのご経験が生かされているのを感じました。

読み語りというのにはじめて接しました。きれいな声、感情がこもった声に聞きほれてしまいました。人の生の声に物語の世界に入り込んでしまい、あっという間に時間が過ぎました。素晴らしい感動をありがとうございました。これからも読み語りを続けていってください。

◆いのちの旅：「水俣学」への軌跡

原田正純／著 東京新聞出版局 2002.11 東山、吉祥院

◆金と水銀：私の水俣学ノート

原田正純／著 講談社 2002.2 伏見中央、醍醐中央、山科

◆新・水俣まんだら：チツソ水俣病関西訴訟の患者たち

木野茂／共著 緑風出版 2001.12 山科

◆チツソは私であった

緒方正人／著 葦書房 2001.10 山科

◆全身病：しのびよる脳・内分泌系・免疫系汚染

白木博次／著 藤原書店 2001.9 醍醐中央、山科

◆ノーモアミナマタの開拓者たち：明日を語って

丸山和彦／著 光陽出版社 2001.1 中央

◆水俣病裁判全史 全5巻

水俣病被害者・弁護団全国連絡会議／編 日本評論社
1998～2001 中央 醍醐中央

◆水俣病の悲劇を繰り返さないために：水俣病の経験から学ぶもの

橋本道夫／編集 中央法規出版 2000.9 中央、醍醐中央、北、左京

◆潮の呼ぶ声

石牟礼道子／著 毎日新聞社 2000.8 伏見中央、醍醐中央、左京、山科、下京、右京、洛西、吉祥院、岩倉、久世

◆水俣市民は水俣病にどう向き合ったか

「私にとっての水俣病」編集委員会／編 葦書房
2000.5 伏見中央

◆証言水俣病 (岩波新書)

栗原彬／編 岩波書店 2000.2 中央、伏見中央、醍醐中央、東山、山科、南、西京、洛西、久世

けやきの活動 05年10月末～06年2月

10/21.26 ニュースレターNo.20印刷発送 2/4 読み語り「みなまた海のこえ」 ・10/27. 11/10.24. 12/1.8.15.22. 1/12.19.26
 11/5 第5回おとなのための語りを楽しむ会 2/10 右京中央図書館の進捗状況を聴く 2/2.9.23 (毎週木曜10:30-12:00)
 12/3 絵本コーナーの飾りを作る会 集まり 絵本コーナーで「あかちゃんに
 12/14 冬のスペシャルお楽しみ会練習 ※ 他団体会議には事務局有志が参加 絵本を」ボランティア
 12/17 冬のスペシャルお楽しみ会 ・10/22.11/25.1/26.2/25 (第4土曜) ・11/10.12/5.1/6.2/6 (第1月曜を基本)
 1/月上旬～ ニュースレターNo.21編集 図書館おたのしみ会に協力 事務局会議・図書館とのミーティング
 1/11 読み語り「みなまた海のこえ」チラシ ・11/10.1/12.1/24.2/17.
 シ・資料印刷 絵本学習会・「あかちゃん
 1/25 読み語り「みなまた海のこえ」リハーサル に絵本を」ボランティア会議

けやき情報板

第18回 映画上映会

日時：3/3(金) 午後1時30分～3時
 場所：左京合同福祉センター3階会議室
 (左京図書館の上階)
 「京都の魅力 美のすべて」シリーズより
 「西陣織・京友禅」「京細工・截金・花かんざし」の2本立て(申し込み不要)

絵本学習会

日時：3/10(金) 午前10時より
 場所：左京合同福祉センター3階会議室
 (左京図書館の上階)
 テーマ：左京図書館の新作赤ちゃん絵本
 を見る／「本のもり」幼児編の本から
 「だいくとおにろく」

絵本コーナーの飾りを作る会

日時：3/25(土) 午後2時より
 場所：左京合同福祉センター3階会議室
 (左京図書館の上階)
 テーマ：「電車で、ゴー」春になりました。
 電車によって、海へ、山へ、夢の国
 にでかけましょう。申し込み不要。子
 もも大人も一緒に絵本コーナーを飾りま
 せんか。

図書館友の会けやきの仲間になりませんか

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい
 そんな私たちの望みをかなえ、
 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。
 それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいき
 とあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、
 活動したいと「けやき」を作りました。図書館のスタッフとともに、
 左京図書館を支え、育てていきたいのです。

こんな活動をしています 一緒にしましょう

子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。
 赤ちゃんの本選びのお手伝いや絵本についての相談も。
 映画上映会など左京図書館の催しに協力したり、
 「けやき」のテープ録音や、絵本コーナーの壁面を飾る作品を作ったり。
 図書館の現状を調べたり、提案も。ニュースレター「けやき」を発行。

ぜひあなたの思いを形にして

図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座
 お申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方
 TEL/FAK 075-721-2625
 郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番
 口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送料の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

くててな奥館ち借本の利▽よがるでらた丁なたた画▽
 つい図つのににりを余用いいとのはれの寧に。も用地
 ちま書て棚到予出次りしんのかテたかな読子の紙域
 やす館して着約し々検てタ、図。一本、紹介どがにの
 。よの本本、本本予索みいと書十も読介でも掲本中
 ね本いを数がを約画まネ思館代ズ。んにほた示を学
 。のまつ日早読す面しついで向コ右でこしちさ一校
 気流した間くみるのたたまもけ！京みういがれ冊で
 をれたせかも切と心。予す充のナのよいと校てづ図
 つを。るウ受け、惹う約。実サ！新うう思内いつ書
 (け滞ここんけな手かれ、(す！も図と話うのま紹委
)りなられと夕取り元れし早(きるビで書教た本みし介員
)せつに！りうのるさ速)とスキ館えっ。ん しが

編集後記

◇けやき 第21号 2006年2月28日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん
 カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方
 TEL/FAX 075-721-2625